

注 意 事 項	
1	躯体と昇降機承諾図に相違がある場合はエレベーター着工までに躯体を是正すること
2	(1)昇降路の壁又は囲いは隙間無きものとする (2)昇降路の壁又は囲いは難燃材料（不燃材料・準不燃材料含む）とする (3)昇降路の壁又は囲いは5cm辺り 300Nの外力が作用した時に15mmを超える変形及び塑性変形が生じない構造とすること (4)コンクリート厚さは150mm以上とすること (5)コンクリート基準圧縮強度は21N/mm ² 以上 30N/mm ² 以下とし、30N/mm ² を超える場合は都度対応協議のこと (6)昇降路壁は後施工アンカーが可能な構造とすること
3	昇降路内にはエレベーターに関係のない配管・配線・ダクト・その他の機器を設置しないこと
4	昇降路壁には配管・消火栓等を埋め込まないこと
5	昇降路内には建築金物（ALCのリップ等）が突出しないこと
6	昇降路内に断熱材（ウレタン・スタイロフォーム等）を施工する場合は溶接火花による火災のおそれがあるため難燃材料とすること
7	断熱材はガイドレール支持用ファスナー及び乗場出入口廻りの取付材を避けて施工すること
8	断熱材の施工時期は協議すること
9	昇降路内の温度は5℃以上40℃以下、湿度は月平均90%以下、日平均95%以下とし、氷結・結露しないこと
10	昇降路内及び乗場には風雨・塵埃・塩分・有害ガス等が入らないこと
11	昇降路内に換気設備を設置する場合は外部より点検可能な配置とし、雨水対策を実施すること
12	昇降路内の騒音・振動が居室に伝搬しない配置及び躯体構造(防音・防振工事等)とすること
13	エレベーターホールと風除室が近い場合はドラフトによりエレベーターの戸が開閉できなくなるおそれがあるため建物側で気密性を上げること
14	保守・点検・緊急対応のため、外部より最上階のエレベーターホールへアクセスできる通路を設けること また、個人宅や占有部、鍵が必要な場所を経由する必要がないこと
15	電源電圧の変動は動力用±10%以内、照明用±5%以内とし、動力用の電圧不平衡率を5%以内とすること
16	高調波障害回避のため、以下の対応を推奨します (1)弱電機器の電源線・通信線はエレベーター動力線から1m以上分離すること (2)エレベーター動力用電源トランスは弱電機器のトランスと独立して設けること (3)弱電機器とのアース線共際は避けること (4)エレベーター動力線は弱電機器近くの床下や天井に設置しないこと (5)漏電遮断器・漏電継電器を設置する場合、不要動作防止のためインバータ対応のものを使用すること
17	搬入に支障のない経路を確保すること
18	据付工事現場詰所及びエレベーター材料・据付工事用機材の保管場所を無償提供願います
19	仮設揚重機・重機(フタクレーン、タワークレーン等)・搬入運搬用台車を無償貸与願います
20	据付工事用電源及び試運転調整時の動力電源を無償提供願います（容量は別途打ち合わせ）
21	必要に応じてモルタルを無償提供願います
22	エレベーターを工事用として使用する場合はこの使用に伴う検査費用・復旧（オーバーホール消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等が生じます
23	エレベーターを工事用として使用する場合、電力会社から供給される電源を使用願います 工事用発電機による工事用使用は電源電圧が不安定なため、内部基板への悪影響を引き起こす可能性が高ことから使用しないこと
24	かご内へ一度に搬入可能な積載は4輪台車で積込み荷重制限（台車含む）以下とすること

下記の事項については別途見積となります	
負荷状況により作業を請負できない可能性がありますので弊社担当へ都度ご相談ください	
1	標準施工作業時間以外でご用命の場合（標準：月曜日～金曜日 8:00～17:00）
2	夜間作業発生の場合
3	2階以上の階若しくは地下階への搬入作業の場合
4	荷下ろし場所から設置・仮置き場所までの距離が30mを超える場合
5	横引き通路に段差・階段・障害物がある場合
6	搬入に際し、警備員・誘導員及び道路使用許可を要する場合
7	床・壁に養生を必要とする場合
8	昇降機据付工事以外で立会いが発生する場合
9	据付工事短縮を必要とする場合
10	昇降路を養生する必要がある場合（ガラス壁等）
11	昇降機着工前までに各階出入口開口部養生材設置作業（養生材のみの貸与含む）をご用命の場合
12	昇降機を工事用として使用する場合は社内検査費用・復旧（オーバーホール・消耗部品の交換等）費用・定期保守費用・コールバック対応費用等 ただし、積載量1,000kg以上の場合、別途労働基準監督署の落成検査費用が発生します 落成検査費用につきましてはご利用者様負担となります （検査費用は【労働安全衛生法関係手数料令】別表第一の四をご参照ください）
13	コンクリート基準圧縮強度が30N/mm ² を超える場合
14	その他特殊な事情がある場合

工 事 区 分 表							
分類	No.	工事項目	昇降路構造		建築		
			RC	S	建築	電気	設備
昇 降 路	1	昇降路の築造工事及び躯体・オーバーヘッド・ピット寸法が昇降機承諾図と異なる場合は正工事 オーバーヘッド：昇降機承諾図寸法に対し20mm以上低い場合（ただし、必要寸法を確保のこと） ピット：昇降機承諾図寸法に対し浅い場合又は30mm以上深い場合（防水面から確保のこと）	○	○	○		
	2	天井フック又はトロリービーム設置工事（荷重に対し安全率5を確保のこと） （オーバーヘッド高さが4000mmを超える場合、トロリービーム設置は必須のこと）	○	○	○		
	3	中間ビーム・セパレータビーム設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	4	ガイドレール支持用ファスナー及び立柱設置・インサート埋め込み工事	○	○	○		
	5	溶接レスの場合のガイドレール支持用ファスナー及び立柱・三方枠取付用アングルへの穴加工	○	○	○		
	6	フィッシャープレート取付材設置工事（フィッシャープレート本体は昇降機工事）		○	○		
	7	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事		○	○		
	8	ピット内防水工事	○	○	○		
	9	ピット下を使用する場合の二重スラブ、釣合おもり側の直下部厚壁等の建築躯体処置工事	○	○	○		
	10	併設されたエレベーターのピットに段差がある場合の間仕切り工事	○	○	○		
	11	急行ゾーンがある場合の昇降路救出口設置工事	○	○	○		
	12	昇降路内建築工事仮設床用（水平養生）の金網、デッキプレート等の撤去工事	○	○	○		
	13	昇降機承諾図に記載のない突出物や不要物の撤去切断等工事	○	○	○		
	14	昇降路内温度が40℃を超える場合の換気設備工事又は空調設備工事	○	○			○
乗 場	1	乗場出入口の敷居取付用欠き込み・敷居受け持ち出し工事及び敷居取付後のモルタル充填工事	○	○	○		
	2	乗場出入口壁穴あけ・乗場出入口用品取付材設置工事及びインサート埋め込み工事（三方枠・バックアングル・ドア・敷居・押しボタン・インジケータ・モニター等）	○	○	○		
	3	乗場出入口用品取付後の壁並びに床・天井等の仕上工事	○	○	○		
	4	三方枠・インジケータ等と壁間のモルタル又はロックウール充填工事	○	○	○		
	5	三方枠・インジケータ等と壁間の塞ぎ板による隙間塞ぎ工事	○	○			○
	6	開放廊下及び屋上等直接外気と接する乗場における雨水対策工事（排水溝・水勾配・庇等）	○	○	○		
電 気	1	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事（外部より点検可能な点検口の設置を含む）	○	○		○	
	2	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事（昇降機工事による押しボタン・警報警等の配線工事は除く）	○	○		○	
	3	昇降路内受電端子までの動力用電源・照明用電源・接地線の引込・立上工事及び一次側端子への接続工事	○	○		○	
	4	昇降路内受電端子までのインターホン・その他機器の配管配線工事並びに引込・立上工事（放送・遠隔監視・防犯カメラ・故障信号・非常呼信号・火災信号・セキュリティ連動信号・監視警等）	○	○		○	
	5	遮煙のりばドア適用時の建屋火災信号の供給	○	○		○	
	6	ピット内点検用コンセントの設置工事（単独回路）	○	○		○	
そ の 他	1	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業	○	○	○		
	2	エレベーター工事着手後の昇降路内への浸水防止工事、出入口先行着工時の止水工事	○	○	○		
	3	居室側防音及び防振工事	○	○	○		
	4	搬入用仮設開口及び搬入経路の段差解消・搬入後の復旧工事	○	○	○		
	5	エレベーターを工事用として使用する場合の各種養生手配及び設置工事	○	○	○		
	6	その他建築・電気・設備に関する工事	○	○	○	○	

(1 台1 回線)			
電源設備			
(低圧)			
号機名	No. 1		
電源設備容量	動力	200 V	5 kVA
	照明	100 V	1. 5 kVA
最大電流	27. 1 A		
動力線サイズ (mm ²)	5. 5	8	14
最大引込み距離 (m)	60	93	161
建屋側MCCB	40 A		
接地線最小サイズ	3. 5 mm ²		
インターホン用配線	φ 0. 9 × 10 本		
電話用配管・配線	φ 19 配管・電話線 1 P		
ピットコンセント容量	1 kVA / 台		
火災管用配管・配線	HP φ1. 2 × 1 P		
BGM放送用配管・配線	HP φ1. 2 × 3 C		

【エレベーター遠隔監視メンテナンス】
※このエレベーターは、遠隔監視メンテナンス契約可能対応機種です。
※遠隔監視メンテナンスでは、エレベーターの遠隔診断・遠隔監視が可能です。
※上記サービスに必要な機器は、保守会社との遠隔監視メンテナンス契約時に貸与されます。

No. 1		
遮煙のりばドア (Smokeproof)		
適用階	1,2FL	認定番号 CAS-1072 (2)

概略仕様

号機名 (台数)		No. 1 (1 台)	
用途 (形式)		寝台用 (SB1000-2S45) 車いす仕様	
積載量 (定員)		1000 kg (15 人)	
速度		45 m / mi n	
制御方式		交流インバータ 制御方式 (回生無)	
操作方式		乗合全自動方式・専用運転	
停止ヶ所・出入口方向		(1,2FL) 2ヶ所 1 方向	
かご内法 (Wx Dx H)		1500 mm X 2500 mmX 2300 mm	
出入口寸法 (Wx H)		1200 mm X 2100 mm	
ドア方式		2 枚戸片開き (電動式)	
電動機出力		AC-4.5 k W (ギヤレス)	
電源	動力	三相3 線 200 V 50 Hz	
	照明	単相 100 V 50 Hz	
管制運転	地震時	有 (P 波+S 波感知器 (3 段検知) リスタート 機能付)	
	火災時	有	
	自家発時	無	
	浸水時／冠水時	有 全自動形 (ビット冠水時 (指定階))	
停電時自動着床装置		有	
耐震クラス		A14	
かご内連絡装置		24 V 同時通話インターホン	
基本仕様及び標準装備仕様		ローラーガイド (かご、おもり) 照明・換気装置自動休止機能 2D 多光軸 (マルチビーム) ドアセフティ 反転時呼び一括キャンセル機能 戸開放時間自動設定 行先階取消し機能 気配りアナウンス機能 (非常時4ヶ 国語対応) イオン発生装置 故障時最寄階自動着床運転 しきい間すましレス 広角ミラー 付操作盤	

乗場仕様

三方枠		全階	大枠・全傾斜 鋼板製単色塗装仕上
ドア		全階	鋼板製単色塗装仕上
	遮煙	全階	有
敷居		全階	硬質アルミ 製
乗場	ボタン	全階	抗菌凸矢印ボタン (SI AA 認証)
インジケータ	インジケータ	全階	デジタル階床表示式
ボタン	フェースプレート	全階	板曲げ ステンレス製ヘアライン仕上 (一部樹脂製)

かご仕様

天井照明		[STD-11] アルミフレーム導光板LED 照明	
換気装置		ファン	
リターンパネル		ステンレス製ヘアライン 仕上	
出入口柱		ステンレス製ヘアライン仕上	
ドア		化粧鋼板	
幕板		化粧鋼板	
側板		化粧鋼板	
幅木		化粧鋼板	
床		ビニタイル (t2)	
敷居		硬質アルミ 製	
操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン (SI AA 認証)	
	インジケータ	液晶 (カラーユニバーサルデザイン 認証)	
	フェースプレート	標準 (広角ミラー付) 抗菌樹脂成形品 (SI AA 認証・一部銅板製)	

特記事項

乗場表示灯「専用」 非常呼ボタン透明ガード (ポリカーボネート製 スイング式)
戸開延長ボタン (180 秒) BGMスピーカー かご床補強 (重荷重対応500kg)

車椅子仕様
専用乗場ボタン、専用かご操作盤、かご内鏡、かご内手摺、戸開放時間 (10 秒)

視覚障害者対策
音声案内装置 (方向、階床、戸閉、管制運転案内)
点字銘板 (一般用乗場ボタン・かご操作盤に 貼付け)
警報回路 高調波対策 トーガード延長

(0198235) V.22.03 (FC)

積込み荷重制限	荷重条件	500kg (4輪台車を使用するものとし、台車の重量を含む)
	重量物の積込みは、一回当り 荷重条件以下で積込み下さい。 ※フォークリフトの使用はできません。	

〒948-0041 新潟県十日町市高山847-10 TEL (025)-767-8265 FAX (025)-767-4277 E-mail tukadast@cores.oon.ne.jp	(株) 塚田設計事務所	1級建築士事務所登録第 7-540 号 代表となる設計者 1級建築士登録168623号 緒 澤 忍	PROJECT TITLE 養護老人ホーム妻有荘 改築工事	DRAWING TITLE エレベーター詳細図 (1)				DATE 2024, 09	DRAWING NO A - 44
								SCALE 1/non	